

Topic1

人事を尽くして天命を待つ

■3年生のみなさん■

センター試験まであと1か月。ここまで来たら、体調管理を最優先して、生活のリズムを見直しましょう。

これから先、センター試験に向けての勉強は復習中心です。“手際よく、スピード感をもって問題を処理できるか”に絞ってできることの確認をすることが大切です。国公立大の2次重視の生徒のみなさんはそのレベルを上げましょう。スピードが備わるということは、思考が安定するということです。センター試験直後の勉強でもうひと伸びが期待できるように、センターレベルの内容を自在に操れるようになりましょう。

焦ってもよいことはありませんし、成績が極端に上がることはないのです。センター試験本番で大切なことは、持っている力を出し切ることであって、それができなければ、必ず必ず後悔します。

残された時間を使い切り、試験では全力を出しましょう。それこそが私たち講師の切なる願いです。

当に「人事を尽くして天命を待つ」というつもりで、どーんと構えてください。

■1, 2年生のみなさん■

1, 2年生のみなさんは、定期試験が終わったところでしょうか？高校によってはこれからのところもあるかもしれません。文理学院では、定期試験対策を通じて学習法を指導しています。今回の取り組み、そして結果はどうでしたでしょうか？同じ生徒でも満足できる結果を出せるときとそうでないときがある、もしくは悪い結果に目を向けず、よい部分だけで話をする生徒もいる、いろいろ指導する中で、ある疑問が湧いてきました。

みなさんに一つお聞きします。

「定期試験と高校入試、どちらの方が必死に取り組みましたか？」

高校入試においては、受かるか、落ちるか、というはっきりした結果が待っています。当然これは大学入試も同じです。だから、3年生も必死に取り組んでいます。

では、定期試験はどうでしょうか。合否は関係なく、少くも結果が悪くても、親や先生から小言をもらうだけ。そのように考えている人は少なくないではありませんか？

つまり、本番を想定して弱点を見極め、客観的にとらえて対処している人と、そうでない人では結果に大きく差が生まれます。なぜ、弱点を見極め対処しないのでしょうか？その一つの要因として「失敗したときのリスクが小さいと感じている」つまり、危機感がないからではないでしょうか。

もう一度学習に向かう姿勢を見直しませんか？点の取り合い、勝負なのですから勝つために取り組みましょう。幸い、これからは冬期講習の時期を迎えます。夏に比べて圧倒的に時間の少ないこの時期、しっかり計画を立てて取り組みましょう。いずれ来るであろう“後のない(と感じる)大学受験”のために。

今から、人事を尽くしてみましよう。文理学院が全力でバックアップします。

～学習計画のアドバイス～

- ① 取り組むべき内容が具体的に設定できること
- ② 取り組んだかどうか、成果をチェックできること
- ③ 実現可能であること

が計画を立てる上ではとても重要です。

「1日〇〇時間勉強する。」という目標は、この時期ではあまり有効ではありません。夏休みのような長丁場ならよいかもしれませんが、今回は冬休みです。本当に限られた時間の中なので、具体的な学習の項目で上げてみてください。当然のことながら、冬休み中の課題は、学校から出されたその日から取り組むことが大切で、冬休みまでの期間を有効に使うこともお忘れないように。

今年11月13日(月)、文理学院は「学研塾ホールディングス」の仲間入りをいたしました。日本経済新聞や山梨日日新聞などの記事で驚かれた方も多かったようですので、この場を借りて塾生と保護者の皆様にもお伝えしておこうと思います。

学習塾・予備校業界はこの10年ほどの間に激動の時期を迎えており、倒産・廃業に追い込まれる塾もあれば、業務縮小を迫られる予備校も散見されます。同時に少子化の進む日本国内で生き残りをかけたM&A(企業の吸収合併)も盛んに行われてきました。これも少子化の影響と学習機関の飽和状態によるものだと分析しています。

そのような厳しい市場環境のもとで、業界内で異彩を放つ「文理学院」に対して、いくつもの大手学習機関からグループインのオファーを頂いてきました。その中で現理事長である加賀公英が4～5年の歳月をかけ、結論を出したのが「学研塾HD」への参入ということです。それには様々な理由がありました。

学研からすると文理学院は大変魅力のある企業であったこと。①指導理念と指導方法、②教師の育成方法、③健全な財務体質などがそれらに当たりますが、その根底の1つに文理の経営手法や現場での指導内容などを同グループ内の他の学習塾にも学んでいただき、さらにグループ全体で活性化を図りたいという狙いがあるということです。

文理からしても学研塾HDへの参入は大きなメリットがあります。①会社がよりパブリックな存在になることで、社内の活性化に繋がる、②東証1部上場企業の仲間入りをすることで優秀な人材の確保がしやすくなる、③社員の福利厚生面でも今まで以上に充実することができるなどです。また、学研塾HDの掲げる講師憲章には次のようにあります。①挨拶や授業中の姿勢を指導、やる気を引き出す、家庭との連携、②逞しく生きる人間に育てる、③感謝の心と利他の精神を持った、社会貢献できる「人財」を育てる……これらは文理学院の指導理念と全く同じでありますし、学研塾HDの「目指すは売上日本一ではなく、教育で日本一になる」という言葉も、売り上げや利益を優先して社業を進めてこなかった文理学院にとっては大変共感できるものであると考えています。

教育に対する考え、企業理念を同じくする者同士が、相思相愛の中で日本の未来の教育のために手を結ぶ……ごくごく自然な流れで、今回のグループインの話が進んできたわけです。

文理学院はこれまで通り地域に根差した学習塾運営を行って参りますし、学研との連携でこれまで以上の上質な教育サービスが提供できればと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

(株)文理学院 教師・スタッフ一同

今回、紹介する先生は、甲府南西校舎の**堀内真司**先生です。「ん？似た名前の人を知っているぞ。」と思った富士吉田校舎のみなさん、そうです、堀内真也先生の実弟であります。どんな先生かというところ……

まず指導教科は数学・物理・化学をハイレベルまで指導します(兄上と同じ)。出身高校は甲府南高校の理数科(兄上と同じ)で、中学高校から鍛え上げられた頭脳は半端ではありません(兄上と同じ)。若者らしく、運動量が豊富で、現在では中学3年生の受験対策講座も担当しており、とても多忙な日々を送っています(兄上も中島校舎の東大講座に山梨から遠路はるばる出講してくれています)。性格は明るく、表情豊かです(兄上とは別、兄上も時々笑うことはある。たまに見ます。作り笑い。)

虚弱体質っぽい雰囲気はありますが、大きなバイクを乗り回す(昼夜構わずうるさい人ではないよ)意外な一面もある先生で、今後もさらに活躍してくれると期待しています。甲府南西校のみなさん、いろいろな先生の指導を受けながら、成長してください。生徒のみなさんにも当然期待しています。

■ブログには各校舎の情報満載！スケジュール、講師のつぶやき、自分勝手なメッセージ……

校舎ブログをホームページから、チェックしてください！

■第一志望合格のために、スタッフ一同全力で生徒を応援します。悩みは一人で抱え込もうとせず、何時でも、何でも相談してください(生徒のみなさんも、保護者様も)。

冬期講習 受付中！

冬休みまでの時間も大切に。

無料体験授業受付中。ぜひお友達を紹介してください！

編集後記

人生、本当にいろいろなことがある。最近思うこと……。流されてきたなあ。打算にまみれた選択をし続けたなあ。振り返ると本当にそう思えることばかりだった気がしてしまいます。高校生のみなさんは、人生を振り返るなんてことはしないでしょう。私もしませんでした。

大学受験の後も競争や選択は続きます。大学受験後の人生の方がはるかに長い。今は一つの目標に向かい一歩ずつ前進するときです。自力で前だけを向いて進んでほしいと思います。

なぜ、こんな話か？気がつけばもう12月です。年の瀬にまた一つ齡をとるのか、と思ういろいろ考えてしまいます。今後私にはどのような選択を迫られる場面があるのだろうか、なんて思いながら。

【い】